

第75回 東京都信用金庫野球大会 大会プログラム

◆【日 程】

① 1回戦 2026年 5月 9日 (土)

② 2回戦 5月 16日 (土)

③ 準決勝戦 5月 23日 (土)

④ 決勝戦 8月 22日 (土)

※予備日 5月 30日 (土)

◆【参加チーム】 28チーム

1部 15チーム

2部 13チーム

共 催 一般社団法人東京都信用金庫協会
東京都信用金庫健康保険組合



この街と生きていく

第75回 東京都信用金庫野球大会 トーナメント表 (第1部)

第1部 (15チーム)

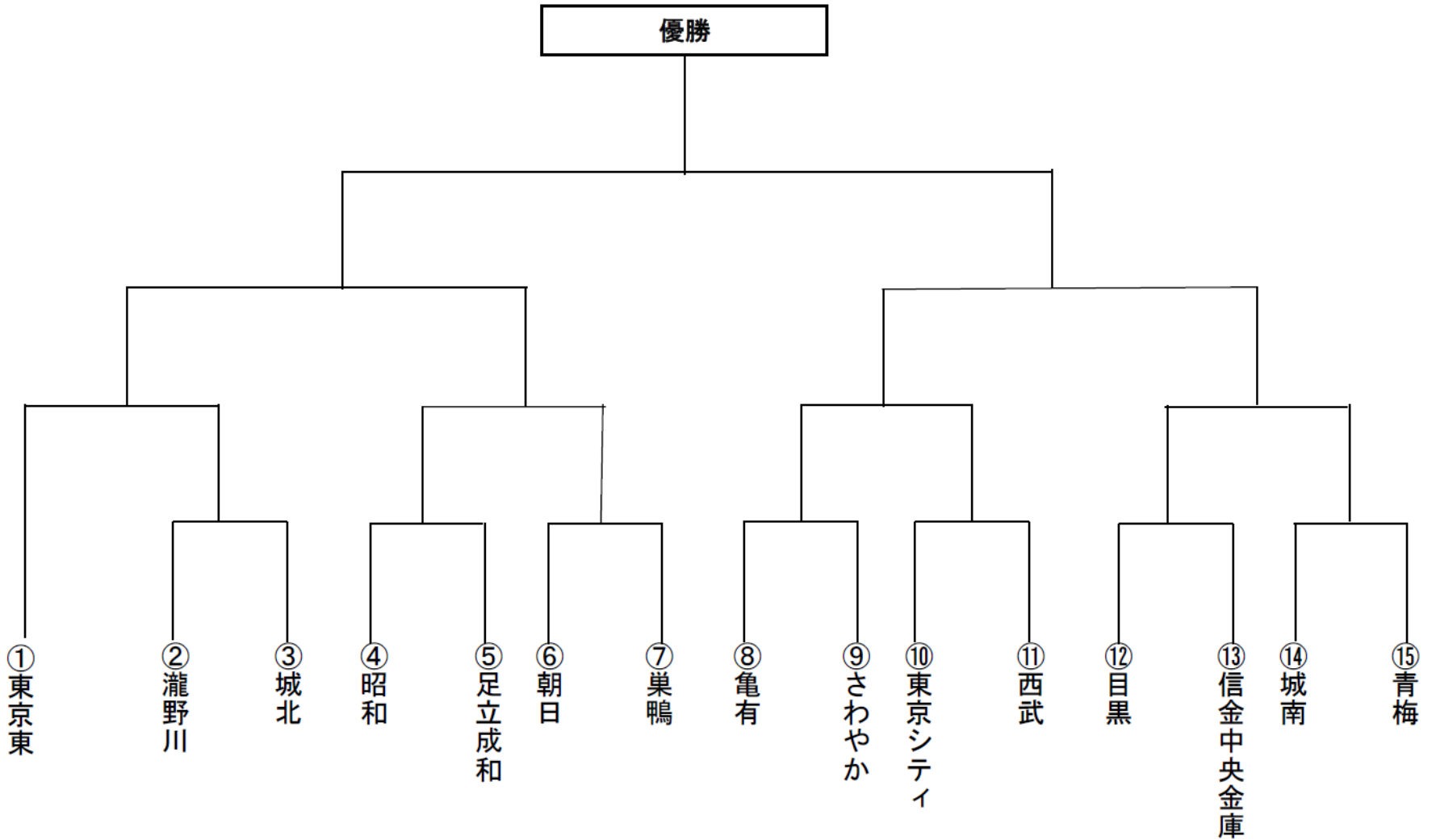
優勝

決勝戦
8月22日(土)
【ベルーナドーム】

準決勝戦
5月23日(土)
【大宮けんぽG】

2回戦
5月16日(土)
【大宮けんぽG】

1回戦
5月9日(土)
【大宮けんぽG】



第75回 東京都信用金庫野球大会 トーナメント表 (第2部)

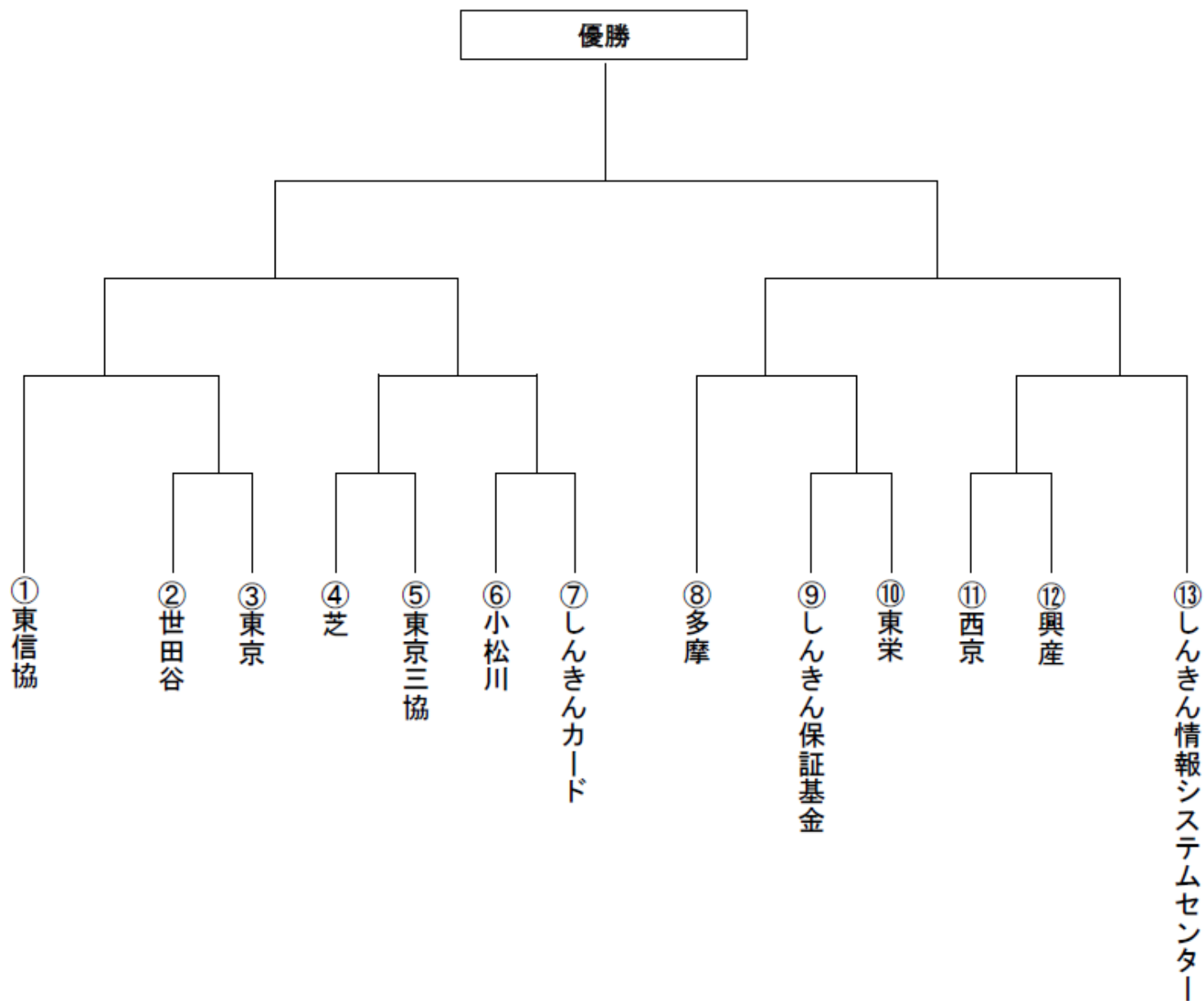
第2部 (13チーム)

決勝戦
8月22日(土)
【ベルーナドーム】

準決勝戦
5月23日(土)
【大宮けんぼG】

2回戦
5月16日(土)
【大宮けんぼG】

1回戦
5月9日(土)
【大宮けんぼG】



第75回 東京都信用金庫野球大会 開催要綱

1. 日 程 (予備日・試合開始時間については予定)

- ①初 日 (1回戦) 2026年5月 9日 (土) 9時～、11時30分～
- ②2日目 (2回戦) 5月16日 (土) 9時～、11時30分～
- ③3日目 (準決勝戦) 5月23日 (土) 9時～、11時30分～
- 【予備日：5月30日 (土)】
- ④4日目 (決勝戦) 8月22日 (土) 9時30分～、13時～

※第2試合は、前の試合の進行状況により前後します。

※雨天により試合が中止となった場合は、翌週もしくは予備日に順延することとします。

2. 球 場

- 1回戦、2回戦、準決勝戦—————大宮けんぽグラウンド
- 決勝戦—————ベルーナドーム (西武ドーム)

3. 参加資格

大会期間中、会員信用金庫及び関係団体所属(出向元)の役職員であること。

4. 参加人員

1チームの登録選手は25名を限度とし、メンバー登録は4月17日(金)までとする。
(ただし、部長・マネージャー・スコアラー各1名は登録に含まない。)

第75回 東京都信用金庫野球大会 開催要綱

5. 試合規定

- ①全日本軟式野球連盟規則による（東京都軟式野球連盟のルールを準用）。
- ②試合はトーナメント方式、イニング数は9回までとする。ただし、9回で勝敗が決しない場合はタイブレーク方式で行い決定する。
- ③試合時間の制限について（東京都信用金庫野球大会特別規則）
 - ・試合時間は大会本部及び担当審判員が管理し、試合開始時間を通告する。
 - ・1回戦は、2時間15分を超えて新しいイニングに入らない。なお、試合は5回終了をもって成立し、それ以降は試合時間を優先する（2時間15分を超え、5回が終了している場合は9回を待たずに試合は終了する）。ただし、2時間15分を超えても勝敗が決しない場合はタイブレーク方式で行い決定する。
 - ・2回戦、準決勝戦、決勝戦は、3時間を超えて新しいイニングに入らない。なお、試合は5回終了をもって成立し、それ以降は試合時間を優先する（3時間を超え、5回が終了している場合は9回を待たずに試合は終了する）。ただし、3時間を超えても勝敗が決しない場合はタイブレーク方式で行い決定する。

※継続打順で、前回の最終打者を一塁走者とし、その前の打者を二塁の走者とする。すなわち、0アウト・二塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームの勝ちとする。勝敗が決しない場合は、更に継続打順でこれを繰り返す。なお、通常の延長戦と同様、規則によって認められる選手の交代は許される。

- ④上記規定のほかコールドゲームの規定を設ける。

コールドゲーム

- ・1回戦、2回戦
3回、4回15点差以上及び、5回、6回10点差以上、7回以降7点差以上とする。
- ・準決勝戦
5回、6回10点差以上及び、7回以降7点差以上とする。
- ・決勝戦
7回以降10点差以上とする。

第75回 東京都信用金庫野球大会 開催要綱

- ⑤日没及び降雨コールドについては、審判長の判断により決定する。試合については5回終了をもって成立し、成立しない場合は再試合（原則として、1回から）とする。
- ⑥チームは試合毎に指名打者制度を採用することができる。採用する場合は、試合前に球審に手渡す打順表に指名打者を記載しなければならない（途中から指名打者制度を採用することはできない）。その他、詳細については、「野球規則改正（抜粋）」を参照のこと。

6. 出場規定

- ①試合開始30分前までに集合すること。試合開始予定時間までに集合できない時は、原則として放棄試合とみなし、相手チームの勝ちとする。但し、相手チームの了解が得られ、審判長・実行委員の裁定により認められた場合に限り、試合を実行できるものとする。
- ②不正な事実があった場合は、大会実行委員会の裁定により出場権を失う。

7. 試合ボール

ケンコーボールM号

8. 審判

東京軟式野球審判同好会及び東京都軟式野球連盟公式審判員

9. 組合せ

例年開催している主将会議に替えて実施する、本大会実行委員会委員による代理抽選会において、1回戦の組合せを抽選により決定する。以後の組合せはトーナメント表に従う。

10. 始球式

- ①野球大会初日に、大会本部前の第一試合において始球式を行う。なお、始球式は実行委員長が務めることとする。また、実行委員長がやむをえず務められない場合については、委員の中から1人が代表して務めることとする。
- ②決勝戦においては、1部、2部ともに、試合開始前に始球式を行う。なお、始球式を務める方の選抜は、決勝戦打ち合せ会にて決定する。

第75回 東京都信用金庫野球大会 開催要綱

11. 表彰

- チーム表彰 優勝、準優勝、3位(2チーム)
個人表彰 最優秀選手賞、優秀選手賞、最優秀監督賞、
敢闘選手賞、ホームラン賞、その他

※表彰は、クラスごとに決勝戦終了後に行う。ただし、3位入賞チームについては準決勝戦終了後に大会本部前にて行う。

12. その他

- ①事故防止の為、捕手は、プロテクター、レガース、マスク、捕手用ヘルメットを着装のこと。
- ②本大会のクラス別異動については、別途定めた「野球大会クラス編成方法について」に準じて行う。
- ③球場の決定、日程の変更、または試合運営上の種々の問題点については、本大会実行委員会の裁定に従うこと。
- ④大宮グラウンドに車で集合する際は、各チームの選手・関係者ともに駐車場に車を停めることを厳守する。また、弁当等のゴミくずはチームごとにまとめて持ち帰ることを徹底する。これを守れないチーム（関係者の管理含む）がある場合は、試合途中においても審判長及び、大会本部の権限にて没収試合とみなし、出場資格を失う。
- ⑤駐車に関しては、別添通り自チームサイドに駐車違反のないよう徹底する。
- ⑥雨天順延または天候に疑義のあるときの連絡先は下記の通りとする。ただし、携帯電話への問い合わせは混乱を避けるため、1チーム代表者1名のみとする。

【注意事項】グラウンド内外で出たゴミは、各チーム各自責任を持って必ずお持ち帰りください。



東京都信用金庫野球大会 公式X @shinkinbaseball

試合開催可否等の情報を発信しています。試合当日 午前6時以降に更新します。

また、携帯電話でも、試合開催可否についてお問合せいただけます。

080-7103-4335

080-7742-8237

試合当日お問い合わせ時間 午前6時～午前6時30分



野球規則改正（抜粋）

5. 1 1 指名打者

(a) 指名打者ルールは次のとおりである。

(1) 先発投手または救援投手が打つ番のときに他の人が代わって打っても、その投球を継続できることを条件に、これらの投手に代わって打つ打者を指名することが許される。

投手に代わって打つ指名打者は、試合開始前に選ばれ、球審に手渡す打順表に記載されなければならない。監督が打順表に10人のプレーヤーを記載したが、指名打者の特定がされておらず、球審がプレイを宣告する前に、審判員またはいずれかの監督（またはその指名する者）がその誤りに気づいたときは、球審は、監督に投手以外の9人のプレーヤーのうち誰が指名打者になるのかを特定するように命じる。

【原注】 指名打者特定の明らかな誤りは、試合開始前であれば訂正することができる。（4.03〔原注〕参照）

(2) 試合開始前に交換された打順表に記載された指名打者は、相手チームの先発投手に対して、少なくとも1度は、打撃を完了しなければ交代できない。ただし、その先発投手が交代したときは、その必要はない。

(3) チームは必ずしも投手に代わる指名打者を指名しなくてもよいが、試合前に指名しなかったときは、その試合で指名打者を使うことはできない。

(4) 指名打者に代えて代打者を使ってもよい。指名打者に代わった打者は以後指名打者となる。退いた指名打者は再び試合に出場できない。

(5) 指名打者が守備についてもよいが、自分の番のところで打撃を続けなければならない。したがって、投手は退いた守備者の打順表を受け継ぐことになる。ただし、2人以上の交代が行なわれたときは、監督が、打撃順を指名しなければならない。

(6) 指名打者に代わって代走者が出場することができるが、その走者が以後指名打者の役割を受け継ぐ。指名打者が代走者になることはできない。

(7) 指名打者は、打順表の中でその番が固定されており、多様な交代によって指名打者の打撃の順番を変えることは許されない。

(8) 投手が一度他の守備位置についた場合、それ以後指名打者の役割は消滅する。

野球規則改正（抜粋）

- (9) 代打者が試合に出場してそのまま投手となった場合、それ以後指名打者の役割は消滅する。
- (10) 投手が指名打者に代わって打撃するかまたは走者になった場合、それ以後指名打者の役割は消滅する。試合に出場している投手は、指名打者に代わってだけ打撃または走者になることができる。
- (11) 監督が打順表に10人のプレーヤーを記載したが、指名打者が特定されておらず、試合開始後に、相手チームの監督がその誤りを球審に指摘した場合は、
 - (A) チームが守備についた後では、投手は、守備につかなかったプレーヤーの打撃順に入る。
 - (B) チームがまだ守備についていないときには、投手は、そのチームの監督が指定した打撃順に入る。いずれの場合も、投手が置きかわったプレーヤーは交代したとみなされ、試合から退き、それ以後指名打者の役割は消滅する。誤りが球審に指摘される前に起きたプレイは、6.03(b)により、有効となる。
- (12) 指名打者が守備位置についた場合それ以後指名打者の役割は消滅する。
- (13) 指名打者に代わって出場させようとするプレーヤーは、指名打者の番がくるまで届け出る必要はない。
- (14) 他の守備位置についていたプレーヤーが投手になれば、それ以後指名打者の役割は消滅する。
- (15) 指名打者は、ブルペンで捕手を務める以外は、ブルペンに座ることはできない。

(b) チームは投手に代わる打者を指名する義務はない。しかしながら、先発投手自身が打つ場合には、本項(a)項により、別々の2人として考えることができる。監督は自分のチームの打順表に10人のプレーヤーを記載し、このプレーヤーにおいて、一つは先発投手、もう一つは指名打者として2度、同じ名前を記載することになる。もしこのプレーヤーが投手を退いたとしても、指名打者としては出場し続けることはできるが、再び投手として出場することはできない。また、このプレーヤーが指名打者を退けば、投手として出場し続けることはできるが、再び打者として打席に立つことはできない。

このプレーヤーが投手と指名打者両方を同時に退くことになった場合、それに置き換わる投手と指名打者両方の役割を満たす他のプレーヤーに代わることはできない。チームにおいて、先発投手自身が指名打者としても打つことができる本規定を採用するかは、最初の打順表で記載するときのみである。

本条(a)項にもかかわらず、その投手が指名打者として打つかまたは走者になったとしても、チームに対する指名打者の役割は消滅しない。また、その指名打者が投手の役割を引き受けた場合においても、その役割は消滅しない。しかし、そのプレーヤーが投手として降板し、投手以外の守備位置に移った場合には、それ以降指名打者の役割は消滅する。¹¹¹

【5.11注】 我が国では、指名打者ルールについては、所属する団体の規定に従う。

野球規則改正（抜粋）

上記（b）の改正に係る解説（2023年度 野球規則改正解説より抜粋）

従来の5.1 1 (b)の内容（指名打者ルールを使用しているリーグのチームと、それを使用していないリーグのチームとが試合をするときの取り決め事項）が削除され、新たにMLBで“大谷ルール”と呼ばれている規定が記載されました。

今までの内容が削除された理由として、MLBではアメリカン・リーグは指名打者ルールを使用し、ナショナル・リーグは指名打者ルールを使用していなかったのですが、ナショナル・リーグにおいても指名打者ルールを正式に使用することとなったため、この規定の目的がなくなったということが考えられます。

新たに採用された規定は、先発投手自身が指名打者として打つ場合には、規則5.1 1 (a)により別々の2人として考えることができることとし、その内容をまとめると、次のようになります。

- ① 指名打者制を使用する場合は、打順表に10人のプレーヤーを記載する。
- ② 投手と指名打者を兼務する場合は、1人は先発投手として、もう1人は指名打者として2度同じ名前を記載する。
- ③ 投手と指名打者を兼務している場合は、投手を交代したとしても指名打者としては続けて出場できるが、再び投手としての出場はできない。
- ④ ③の逆で、指名打者を交代した場合は、投手としては続けて出場はできるが、再び打者としての出場はできない。
- ⑤ 投手と指名打者を兼務している者が、投手と指名打者を同時に交代した場合は、その後の交代したプレーヤーは、投手と指名打者を兼務すること（いわゆる置き換え）はできない。
- ⑥ 投手と指名打者を兼務させることは、最初の打順表に記載したときにのみできる。
- ⑦ 投手と指名打者を兼務している者が、投手を降板し、他の投手以外の守備位置に移った場合は、それ以後指名打者の役割は消滅することになり、その打撃順のまま、出場することになる。新しく登板する投手も退いた野手（その際、同時に他の退く野手がいる場合には、それらの打撃順を選ぶことができる）の打撃順に入ることとなる。

駐車整理およびゴミ管理のお願い

野球大会を開催するにあたり、大宮けんぽグラウンドより、駐車場以外の道路へ無断駐車があった場合、またグラウンド内外にゴミくずを放置するような不適切な処理があった場合、以後一切のグラウンド使用を禁止する旨、通告を受けております。本大会関係者以外の方が違反駐車、ゴミ捨てをしている場合もあると思われませんが、大会を無事進行できるよう自チームの駐車整理と併せてゴミ処理の管理を徹底していただきたく存じます。

つきましては、下記事項を確認の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

<駐車場所の徹底>

1. 駐車場内において、他車の出入りの迷惑になるような駐車はご遠慮ください。
2. チーム選手・関係者が駐車禁止と気付かずに駐車することも多々あるため、各金庫（団体）担当部署より、この取決めに遵守していただくよう周知徹底をお願い致します。

<ゴミくずの管理>

環境保全やのため、各チームで生じたゴミくず（空き缶、空き瓶を含む）は持ち帰るよう周知徹底をお願い致します。

※以上の取決めをお守りいただけないチームは、大会本部の権限において出場資格を失うこととさせていただきます。

過去開催分の成績表

回数	年度	クラス	優勝チーム	準優勝チーム	回数	年度	クラス	優勝チーム	準優勝チーム
第1回	昭和27年		東武	王子	第16回	昭和42年	A	八千代	同栄
第2回	昭和28年		荒川	城南			B	亀有	神田
第3回	昭和29年		東京山手	青梅			C	城東	小岩
第4回	昭和30年	A	東武	東京山手	第17回	昭和43年	A	東武	青梅
		B	京北	足立			B	東調布	小岩
第5回	昭和31年	A	同栄	瀧野川			C	文京	江戸川
		B	第一	全信協	第18回	昭和44年	A	同栄	三和
第6回	昭和32年	A	東京	城南			B	大同	西武
		B	中央	東都			C	港	昭和
第7回	昭和33年	A	八千代	光	第19回	昭和45年	A	三和	同栄
		B	東調布	多摩中央			B	王子	太平
		C	武陽	東邦			C	全信連	小松川
第8回	昭和34年	A	同栄	東武	第20回	昭和46年	A	光	青梅
		B	芝	東邦			B	中央	文京
		C	共栄	武蔵野			C	目黒	世田谷
第9回	昭和35年	A	同栄	東京	第21回	昭和47年	A	八千代	同栄
		B	武蔵野	巣鴨			B	芝	松沢
		C	三和	太平			C	東栄	東信協
第10回	昭和36年	A	同栄	東京	第22回	昭和48年	A	光	東武
		B	三和	青梅			B	朝日	小松川
		C	東京三協	神田商工			C	日本橋	協和
第11回	昭和37年	A	同栄	東京	第23回	昭和49年	A	光	八千代
		B	王子	中央			B	多摩中央	小岩
		C	八王子	昭和			C	成和	東邦
第12回	昭和38年	A	同栄	三和	第24回	昭和50年	A	同栄	八千代
		B	八王子	渋谷			B	瀧野川	協和
		C	日本橋	松沢			C	太陽（太洋）	武蔵野
第13回	昭和39年	A	同栄	東武	第25回	昭和51年	A	太陽	八千代
		B	日本橋	荒川			B	神田	東邦
		C	東信協	協立			C	日興	昭和
第14回	昭和40年	A	同栄	三和	第26回	昭和52年	A	八千代・太陽	
		B	渋谷	興産			B	芝	八王子
		C	東京都商工	帝都			C	江戸川	共栄
第15回	昭和41年	A	八千代	同栄	第27回	昭和53年	A	太陽	同栄
		B	足立	上野			B	日興	亀有
		C	神田	亀有			C	文京	全信連

過去開催分の成績表

回数	年度	クラス	優勝チーム	準優勝チーム	回数	年度	クラス	優勝チーム	準優勝チーム
第28回	昭和54年	A	八千代	太陽	第40回	平成3年	1部	太陽	東武
		B	八王子	江戸川			2部	世田谷	共積
		C	全信連	城東			3部	渋谷	東京産業
第29回	昭和55年	A	八千代	太陽	第41回	平成4年	1部	太陽	青梅
		B	巣鴨	足立			2部	平成	巣鴨
		C	王子・世田谷				3部	文京	中央
第30回	昭和56年	A	太陽	同栄	第42回	平成5年	1部	太陽	青梅
		B	亀有	足立			2部	東調布	文京
		C	小松川	松沢			3部	東栄	信金共同事務センター
第31回	昭和57年	A	同栄	太陽	第43回	平成6年	1部	日興	同栄
		B	瀧野川	小岩			2部	しんきんクレジット	小岩
		C	興産	共栄			3部	太平	大東
第32回	昭和58年	A	八千代	東武	第44回	平成7年	1部	青梅	日興
		B	江戸川	西武			2部	多摩中央	朝日
		C	文京	松沢			3部	亀有	東京
第33回	昭和59年	A	八千代	太陽	第45回	平成8年	1部	瀧野川	東武
		B	興産	王子			2部	協和	東栄
		C	東京都商工	三和			3部	目黒	荒川
第34回	昭和60年	A	日興	江戸川	第46回	平成9年	1部	太陽	巣鴨
		B	小松川	全信連			2部	共積	荒川
		C	共積	帝都			3部	八王子	西武
第35回	昭和61年	1部	江戸川	太陽	第47回	平成10年	1部	太陽	巣鴨
		2部	朝日	神田			2部	亀有	目黒
		3部	武蔵野	大同			3部	全信連	成和
第36回	昭和62年	1部	太陽	八千代	第48回	平成11年	1部	太陽	日興
		2部	多摩中央	八王子			2部	足立	芝
		3部	文京	東栄			3部	東京三協	港
第37回	昭和63年	1部	日興	青梅	第49回	平成12年	1部	日興	瀧野川
		2部	巣鴨	足立			2部	平成	小岩
		3部	しんきんクレジット	協和			3部	東京	信金共同事務センター
第38回	平成元年	1部	同栄	八千代	第50回	平成13年	1部	日興	太陽
		2部	武蔵野	王子			2部	多摩中央	信金中金
		3部	目黒	共積			3部	東調布	昭和
第39回	平成2年	1部	八千代	太陽					
		2部	小松川	芝					
		3部	大同	太平					

過去開催分の成績表

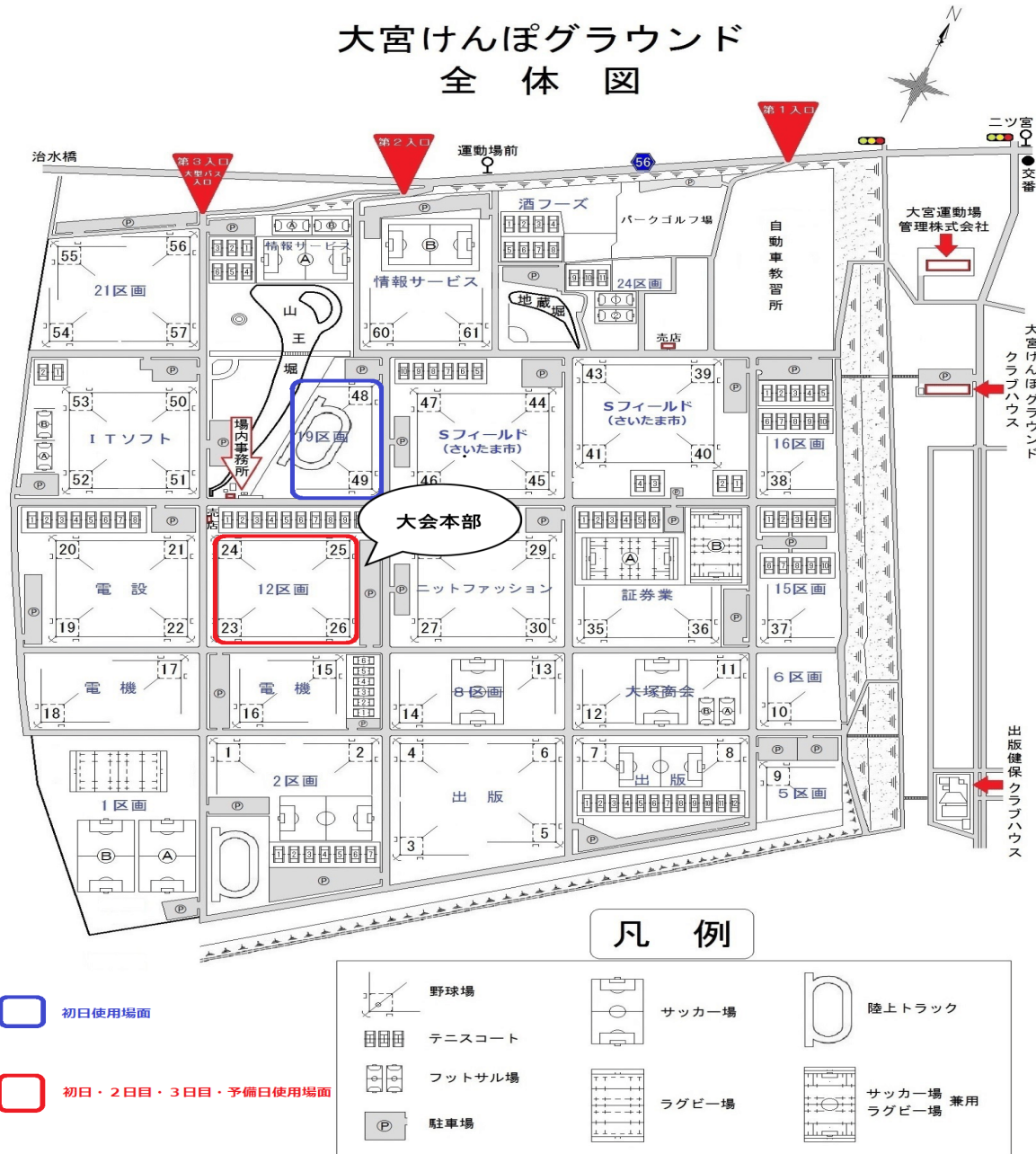
回数	年度	クラス	優勝チーム	準優勝チーム
第51回	平成14年	1部	瀧野川	太陽
		2部	しんきんクレジット	西京
		3部	興産	東京シティ
第52回	平成15年	1部	青梅	瀧野川
		2部	西武	足立成和
第53回	平成16年	1部	巣鴨	朝日
		2部	東京	亀有
第54回	平成17年	1部	青梅	瀧野川
		2部	東栄	多摩中央
第55回	平成18年	1部	朝日	巣鴨
		2部	東京東	芝
第56回	平成19年	1部	青梅	瀧野川
		2部	城北	東京シティ
第57回	平成20年	1部	朝日	青梅
		2部	西武	東京
第58回	平成21年	1部	朝日	青梅
		2部	東京三協	足立成和
第59回	平成22年	1部	青梅	朝日
		2部	亀有	しんきんカード
第60回	平成23年	1部	朝日	青梅
		2部	東京東	世田谷
第61回	平成24年	1部	青梅	朝日
		2部	西京	昭和
第62回	平成25年	1部	青梅	朝日
		2部	多摩	城南
第63回	平成26年	1部	朝日	さわやか
		2部	足立成和	東京三協
第64回	平成27年	1部	青梅	朝日
		2部	芝	東栄
第65回	平成28年	1部	朝日	青梅
		2部	瀧野川	東京シティ

回数	年度	クラス	優勝チーム	準優勝チーム
第66回	平成29年	1部	朝日	青梅
		2部	東京	目黒
第67回	平成30年	1部	朝日	西武
		2部	足立成和	東栄
第68回	令和元年	1部	青梅	さわやか
		2部	世田谷	東京東
第69回	令和2年	1部	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	
		2部	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	
第70回	令和3年	1部	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	
		2部	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	
第71回	令和4年	1部	青梅	城北
		2部	東京シティ	興産
第72回	令和5年	1部	さわやか	城北
		2部	昭和	城南
第73回	令和6年	1部	朝日	さわやか
		2部	目黒	信金中金
第74回	令和7年	1部	東京東	青梅
		2部	東京シティ	亀有



この街と生きていく

大宮けんぽグラウンド 場内図



※大会本部テントは12区画㊸の三塁側に設置します。

※各チームの試合時間、使用グラウンドは、試合実施日前にご案内する書面等にてご確認ください。

この街と生きていく